

法伝寺はふでんじは恋塚こひづかの南にあり。始は真言宗まごんしゆにして、本尊には薬師仏やくしを安置す。「行基ぎやうきの作なり、門内にあり」洛東智恩院らくとうちおんおんの住職円智上人えんち此寺に閑居して浄土宗と改む。本尊の阿弥陀仏あみだは恵心ゑしんの作なり「善導ぜんだう大師像だいし」法然上人はふねんの作「西山上人せいざんの作、これを二祖対面の像といふ」方便水ほうべんすゐ「門内の北にあり、はじめ里人を多くあつめ、錢をあたへて念仏を唱させて井を掘らしむるゆゑ、此名あり」

一念寺ねんじ「法伝寺はふでんじの南にあり、本尊阿弥陀仏あみだぶつは春日かすがの作なり。開基は真阿弥陀しんあみだといふ」